



2022年11月14日

各位

会社名: 株式会社 スタメン
(コード: 4019 東証グロース)
代表者名: 代表取締役社長執行役員 CEO 加藤 厚史
問合せ先: 取締役副社長執行役員 COO 大西 泰平
(ir@stmn.co.jp)

代表取締役の異動および役員の担当業務変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年1月1日付で、代表取締役の異動および役員の担当業務変更について下記のとおり決定したことをお知らせいたします。

記

1. 目的

当社は2016年の創業以来、「一人でも多くの人に、感動を届け、幸せを広める。」という経営理念のもと、創業事業である「TUNAG」をはじめ、「FANTS」事業の立ち上げ、子会社株式会社 STAGE の設立と、事業の展開及び拡大を進めてまいりました。また、事業成長を支える組織についても監査等委員会設置会社へ移行など、企業規模に合わせてその体制構築を図ってまいりました。

今後の事業運営においては、各事業がその個性を強めながら迅速な意思決定を行っていくことが、スタメングループ全体の成長につながるものと考えており、そのために来期の期初より、代表取締役の交代を含むグループの経営体制の変更を行うこととしました。今後とも事業規模や取り巻く環境の変化に応じて、最適な組織体制を検討し、「人と組織」による事業運営を強化してまいります。

2. 異動の内容

氏名	新役職名 (2023年1月～)	現役職名 (～2022年12月)
大西 泰平	代表取締役社長執行役員 / CEO	取締役副社長執行役員 / COO TUNAG 事業部長
加藤 厚史	取締役 株式会社 QualityStart 代表取締役社長	代表取締役社長執行役員 / CEO

【ご参考】代表取締役の略歴及び就任日

氏名 (生年月日)	略歴	所有株式数
大西 泰平 (1984年12月8日)	2008年3月 筑波大学第一学群人文学類卒業 2008年4月 株式会社大広入社 2014年7月 Sekai Lab Pte. Ltd. 入社 2016年8月 取締役として当社を共同創業 2020年3月 当社取締役コーポレート本部長 2022年1月 当社取締役副社長執行役員 / COO (現任) 当社 TUNAG 事業部長 (現任)	405,000 株※

※ 本日付の適時開示「当社社長保有株式の役員等に対する贈与に関するお知らせ」のとおり、当社株式の贈与が実施され、所有株式数は725,000株となる予定です。

3. 2023年1月以降の役職

氏名	新役職名 (2023年1月～)
株式会社スタメン ※1	代表取締役 大西 泰平 取締役 松谷 勇史朗 取締役 加藤 厚史 取締役 小林 一樹 取締役 満沢 将孝

	取締役 森山 裕平 監査等委員である取締役 中谷 奈緒美（常勤） 監査等委員である取締役 杉村 和哉 監査等委員である取締役 村瀬 敬太
株式会社 STAGE	代表取締役 菅生 悠 取締役 大西 泰平
株式会社 スタジアム ※2	代表取締役 森山 裕平 取締役 小林 一樹
株式会社 QualityStart ※2	代表取締役 加藤 厚史

- ※1 当社の取締役（監査等委員である取締役を除く）の任期は2023年3月に開催を予定しております定時株主総会の終結の時までであり、その役員候補者については、別途開示を予定しております。
- ※2 株式会社スタジアムおよび株式会社QualityStartの詳細につきましては、本日付の適時開示「会社分割によるFANTS事業の分社化及び子会社（分割準備会社）設立に関するお知らせ」および「子会社設立に関するお知らせ」の内容もご参照ください。

4. 関係者コメント

◆ 大西 泰平

この度、来年度からのグループ経営体制への移行にともない、当社の代表を加藤からバトンタッチさせていただくこととなりました。

2016年の創業以来、共同創業者である加藤、小林とはお互いの持ち味や長所、苦手分野や短所を相互補完し合いながら、スタメンの持続的な高成長の実現に向けて、事業運営を行ってきました。ITスタートアップの経営メンバーとして、当社の創業時点から豊富な経験を有していた加藤や小林に比べて、当初の私は、スキルや経験、加えて人間的にもまだまだ未成熟な面が多かったため、自分がバリューを発揮できそうなところは、最大限幅広くカバーしようと考えていたこともあり、現在に至る事業運営の悪戦苦闘の中で、幅広い職務や管掌領域を経験することができました。

上場から2年が経とうとする中、当社がより一層大きな事業成長を実現していくために、来年度よりグループ戦略に移行することで、組織規模の拡大にもかかわらず、スタートアップらしい迅速な意思決定とアクションを維持、発展させていくことが可能になるという考えに至りました。そこで、0→1での事業立ち上げにおいて明確な実績と強みを持つ加藤と、幅広い管掌領域をカバーすることに強みを持つ私、双方のバリューを最大化することを目的に、今回の代表交代を行うこととなりました。

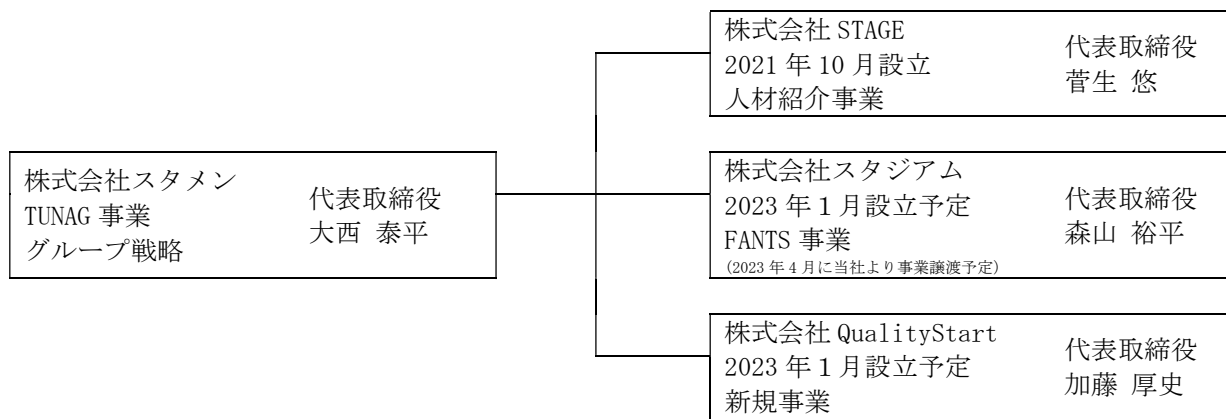
大変恵まれたことに、当社の役員や幹部陣をはじめとした創業初期からのメンバーは、そのほとんどが東証上場以降も次のフェーズへの成長に向けて、適宜自らの役割を柔軟にアップデートしながら、今も共に挑戦を続けてくれています。生き馬の目を抜くITスタートアップの世界の中で、こうして長期に渡って信頼関係を構築した仲間と戦えていることこそが、エンゲージメント経営の賜物だと感じていますし、「人と組織」で勝つ会社づくりを体現していくためにも、今回のグループ経営体制への移行および代表交代を、成功に導いていきたいと考えています。

◆ 加藤 厚史

副社長の太西とは2016年にスタメンを共同創業しました。太西は海外事業経験が豊富で、IT領域全般に強みを持つオールラウンダーな経営者として、会社のフェーズに合わせて役割を変え、プロダクトデザインやマーケティング部門のみならず、時には上場準備の責任者として、ここまでの会社の成長を牽引してくれました。特に今期においては副社長執行役員COOとして、主力のTUNAG事業について大胆な戦略のもと再成長軌道に乗せ、会社全体として第2の成長期に入ることができています。

私自身は、どこかのタイミングで代表を譲り、グループ内で自身のバリューを最も発揮できる0→1での事業創造を担当することが、スタメンの中長期の未来にとってもベストであると思ってきました。それがTech Companyとして飛躍への準備が整った来期のタイミングだと考えます。とはいえ、100%子会社を設立してその代表に就任する形なので、スタメンから独立したり、離反したりするわけではなく、あくまで今後も事業創造という面から、スタメングループの企業価値の向上に貢献していきます。新子会社では、スタメン内の新規事業では取り組みにくい事業ドメインにも、積極的に挑戦していきたいと考えています。

【参考】スタメングループの概略図



以 上